第44期 ビジネスレポート

2013年4月1日～2014年3月31日

YaMaYa World Liquor System

株式会社 やまや

〈証券コード 9994〉

経営理念

株式会社やまやは「流通、販売の合理化を実践し、消費生活を豊かにすることで地域社会に貢献する。」というやまやグループ経営理念、そして、三方善（さんぽうよし）の考えを基にしたやまやグループ行動規範を実践しています。三方善とは、「売り手善し、買い手善し、世間善し」すなわち、一方、自分。二方、相手方。そして、第三方、社会一般。の三方が、それぞれに善い状態に保つことを言います。

株式会社やまやは、お客様、お取引先、我々の主体性の三方を衡平（こうへい）に考え、経営理念実現のため、日々、この三方善の信条を以って考動（こうどう）してまいります。

目次

ごあいさつ …… 2
ビジネストピックス …… 3
店舗ネットワーク …… 5
財務ハイライト …… 8
連結財務諸表（要旨） …… 9
株主メモ …… 11

2013年度 営業報告

FY2013 Report

代表取締役会長 山内 英房　代表取締役社長 山内 英靖

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第44期（2014年3月期）の事業の概要についてご報告いたします。

当期のわが国経済は、大胆な金融緩和など、アベノミクスの施策で円安、株価上昇が誘導され、デフレ脱却に向けた動きが高まったものの、新興国の成長鈍化など景気の先行きは、依然として不透明な状況が続いています。平成25年10月1日に消費税3%増税が決定され、以降、耐久財の先買い需要、増税日の平成26年4月1日を前に消費財の駆け込み需要が起こりました。

酒販業界では、業種・業態を超えた競争がますます厳しさを増し、原材料の価格高騰や電気料金の値上げの影響など、先行きに対する懸念は払拭されておらず、厳しい経営環境は続いています。

このような中、当社は、お客様の視点に立ったお店づくりを目指し、輸入商品、地域商品の両面でお品揃えの強化、新規出店と、改装による既存店の活性化を推し進めるとともに、地域物流を強化し、トータルコストの低減に努め、経営基盤の強化と経営効率の向上に取り組みました。

また、当社は居酒屋業界で高収益のビジネスモデルを生み出した東証二部上場のチムニー株式会社の企業文化を高く評価し、同社との酒類・食品の共同調達による調達コスト削減、取扱商品の充実・拡大が可能となれば、共々の更なる成長・発展、両社の企業価値の向上に一層、資すると判断し、平成25年11月8日より同社の株式950万株の公開買付を実施、12月12日に発行済株式総数の49.1%を取得、公開買付前に取得した株式30万5千株1.6%と併せ、発行済株式総数の50.7%、議決権割合の52.1%を保有することとなり、同社を連結子会社といたしました。

今後、両社の酒類・食品の共同調達による一層のコストシナジー、グローバルな酒類・食品のサプライチェーンの構築、お客様の地域に密着した六次産業化、取扱商品の拡大などの効果を見込んでおり、引き続き、お客様、株主様、お取引先様、フランチャイズオーナー様、全従業員、全てのステークホルダーと共に繁栄しようとする三方善、心のこもった行動を通じて、お客様に最高の品質とコストパフォーマンスを提供するべく「流通、販売の合理化を実践し、消費生活を豊かにすることで社会に貢献する」こと、および「地域社会そして世界の人々の健康で豊かな社会の実現に貢献する」ことという企業理念を共有し、両社の企業価値の向上を目指してまいります。

尚、平成26年3月4日、チムニー株式会社の株式は、東京証券取引所市場第二部銘柄より同市場第一部銘柄に指定されています。

平成26年2月、記録的降雪も影響し、酒販事業・外食事業とも売上高は低調に推移しましたが、酒販事業では、増税前の駆け込み需要がはっきり現れ、3月度の既存店売上高は前年比124%と2月の低調な業績を挽回することができました。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上高が1,356億58百万円（前年同期比113.2%）、営業利益が42億円（同118.3%）、経常利益が42億85百万円（同113.8%）、当期純利益は23億15百万円（同104.4%）の増収増益となりました。

今後とも皆さまのご期待に沿うよう、努力を重ねてまいりますので、皆さまの変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

ビジネストピックス（酒販事業）

Business Topics

2013年度は新たに14店舗を開店し、27店舗の改装を実施しました。

古賀店（福岡県古賀市）

芝大門店（東京都港区）

酒販業界では、業種・業態を超えた競争がますます厳しさを増し、原材料の価格高騰や電気料金の値上げの影響など、先行きに対する懸念は払拭されておらず、厳しい経営環境は続いています。このような中、お客様の視点に立ったお店づくりを目指し、輸入商品、地域商品の両面でお品揃えの強化を図り、新規出店と改装による既存店の活性化を推し進めるとともに、地域物流を強化し、トータルコストの低減に努め、経営基盤の強化と経営効率の向上に取り組んでまいりました。

今年度の新規出店は、湯沢店（秋田県）、あけぼの店、生協愛子店、白石北店（宮城県）、桜田店（山形県）、柏崎店（新潟県）、新栃木店（栃木県）、芝大門店（東京都）、小杉店（富山県）、御池高瀬川店、山科店（京都府）、くずは船橋店（大阪府）、博多駅東店、古賀店（福岡県）の14店舗を開店しました。特に芝大門店は、2006年の銀座店以来、約7年半ぶりの東京都区内に立地する都市型店舗となります。芝大門店では、当社グループの外食事業を担うチムニー株式会社と連携し、『やまや芝大門店限定企画』として、芝大門店で購入したワインを、持込料1,000円で近隣の「はなの舞浜松町大門店」及び「龍馬軍鶏農場浜松町大門店」に持ち込んで楽しめる、持ち込みサービス（BYO）をスタートさせました。改装につきましては、既存店の活性化のため、27店舗の改装を実施し、スピード西大津店、楽市川西店、楽市垂水名谷店、スピード服部店、楽市豊中豊南店を、酒類と嗜好品の専門店として、業態転換を図る改装を行い、店名を「やまや」に変更いたしました。

以上の結果、酒販事業の総店舗数は前年度末比10店舗増加の312店舗になり、酒販事業の業績は、売上高が1,246億66百万円（前年同期比104.0%）、営業利益は35億72百万円（同100.6%）となりました。

当社は引き続き、ご来店が、お得で、楽しい、リアル店舗をつくることで、さらにお客様に、世界の、地域の美味しいお酒、食品のお品揃えを直接お見せし、ご提供できるお店、お客様に楽しい専門店化を目指し、既存店の活性化と新規出店、R&B（リニューアル&ビルド）によるお客様との接点の質的向上を図ってまいります。

ビジネストピックス（外食事業）

Business Topics

6次産業の進展と新業態の開発に取り組んでいます。

龍馬軍鶏（しゃも）農場

豊丸水産

外食事業を担うチムニー株式会社においては、激化する企業間競争の中、他社との差別化を目指し、漁業等の1次産業から、その食材の加工等を行う2次産業、また店舗等において商品を提供する3次産業までを一括して管理する、飲食業の6次産業化に向けた取り組みを強化し、より鮮度の高い商品を提供できるように努めると共に、お客様に選んでいただける店舗づくりを目指してまいりました。

また、新業態の開発に積極的に取り組み、希少価値の高い軍鶏（しゃも）を中心としたメニューを取り揃えた「龍馬軍鶏農場」ブランドを、肉と魚の両方を浜焼きスタイルで楽しんでいただける「豊丸水産」ブランドを開発し、3月末現在、それぞれ17店舗、20店舗まで拡大しています。また、株式会社紅フーズコーポレーション、めっちゃ魚が好き株式会社の2社をチムニー株式会社の連結子会社としました。

新業態「龍馬軍鶏農場」が大変好評をいただいていることから、農林水産省・群馬県と協同して、上州地鶏の卵→雛→飼育→処理→加工→店舗販売までの、水平分業型インテグレーションを構築する取り組みに着手しました。ブランド価値を向上させながら、増販体制の準備を進め、今後も出店を加速させていく計画です。

以上の結果、平成26年1月1日～3月31日までの3ヶ月間の外食事業の売上高は、111億21百万円、営業利益は6億28百万円となりました。

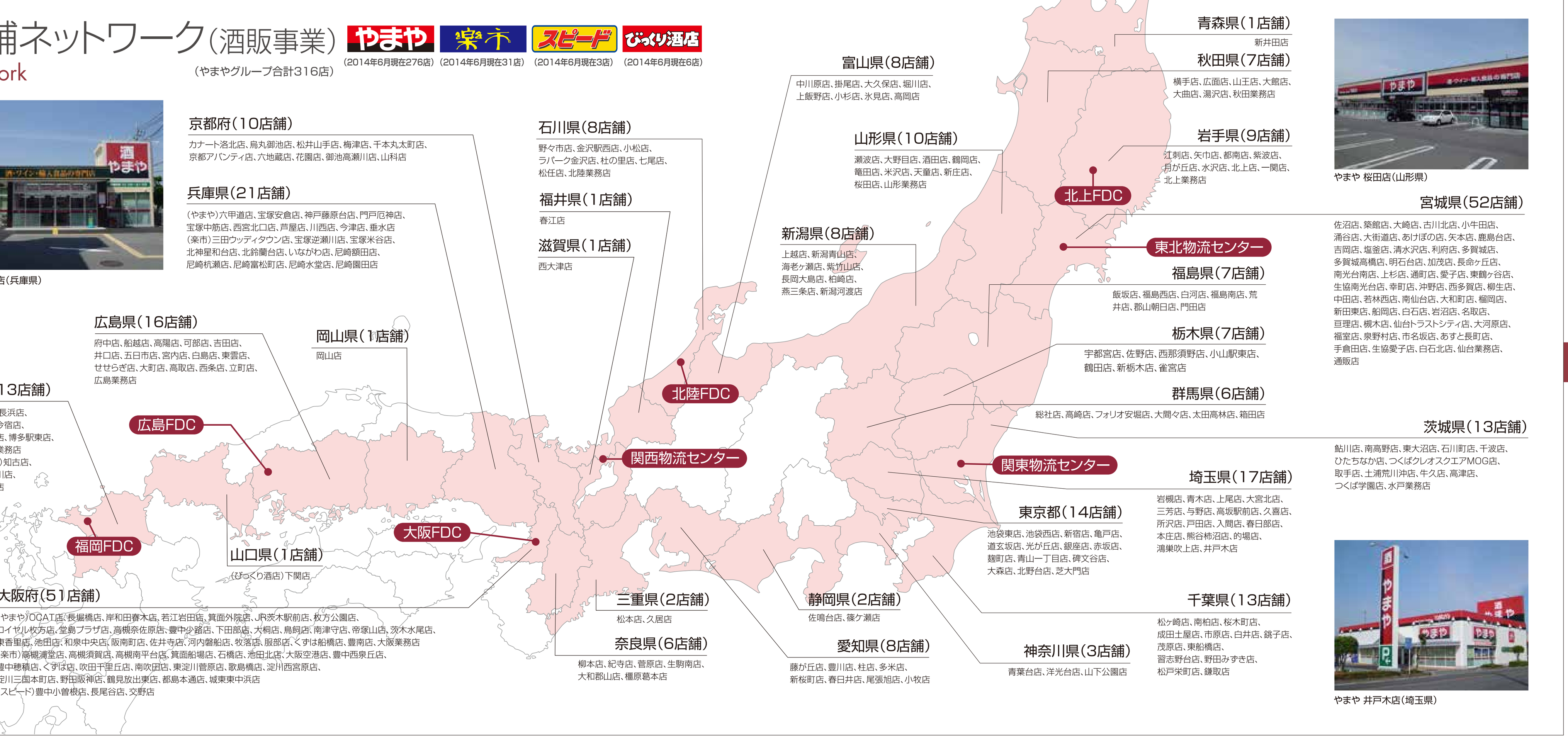
こうして、幅広いお客様層・店舗フォーマットに対応する業態ブランドを充実させてきたことで、あらゆる立地条件に出店できる体制となり、出店機会が増加してきました。また、多彩なブランドポートフォリオの確立により、地域戦略による業態転換が進み、地域ごとの収益向上にも繋がってきています。現在、チムニーグループでは、「CHANGE（変革と転換）」と「BUILD（創造と創生）」という2つのテーマを掲げ、6次産業の進展を通じたさらなる成長を志向しています。今後も新業態の開発と適材適所の店舗展開を進め、日本全国で店舗網を拡大しながら、収益性を向上させていきたいと考えています。

店舗ネットワーク（酒販事業）

Network

（やまやグループ合計316店）

やまや（2014年6月現在276店）　楽市（2014年6月現在31店）　スピード（2014年6月現在3店）　びっくり酒店（2014年6月現在6店）



やまや 川西店（兵庫県）

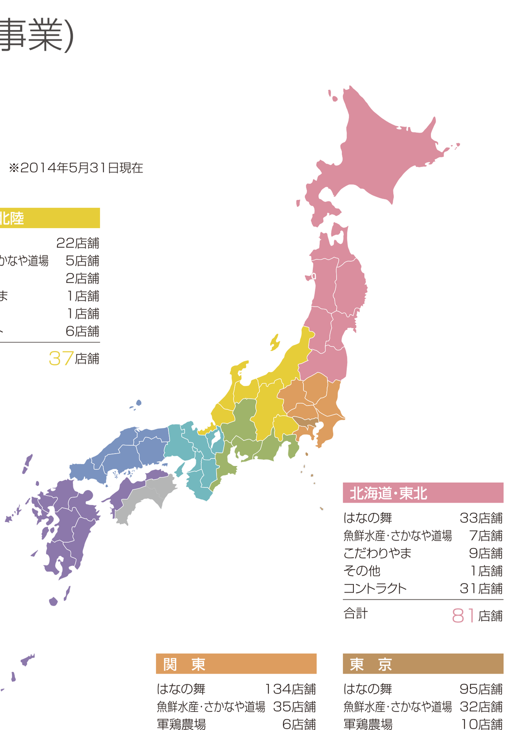
やまや 桜田店（山形県）

やまや 井戸木店（埼玉県）

店舗ネットワーク（外食事業）

Network

チムニーグループ店舗数 全725店舗　※2014年5月31日現在



関西	
はなの舞	15店舗
魚鮮水産・さかなや道場	11店舗
軍鶏農場	4店舗
豊丸水産	6店舗
こだわりやま	1店舗
豊丸・鶴金	8店舗
コントラクト	7店舗
合計	52店舗

東海	
はなの舞	29店舗
魚鮮水産・さかなや道場	16店舗
軍鶏農場	3店舗
豊丸水産	2店舗
こだわりやま	3店舗
その他	2店舗
コントラクト	9店舗
合計	64店舗

甲信越・北陸	
はなの舞	22店舗
魚鮮水産・さかなや道場	5店舗
豊丸水産	2店舗
こだわりやま	1店舗
その他	1店舗
コントラクト	6店舗
合計	37店舗

四国・九州・沖縄	
はなの舞	4店舗
魚鮮水産・さかなや道場	9店舗
軍鶏農場	2店舗
コントラクト	19店舗
合計	34店舗

中国	
はなの舞	16店舗
魚鮮水産・さかなや道場	4店舗
豊丸水産	1店舗
コントラクト	3店舗
合計	24店舗

北海道・東北	
はなの舞	33店舗
魚鮮水産・さかなや道場	7店舗
こだわりやま	9店舗
その他	1店舗
コントラクト	31店舗
合計	81店舗

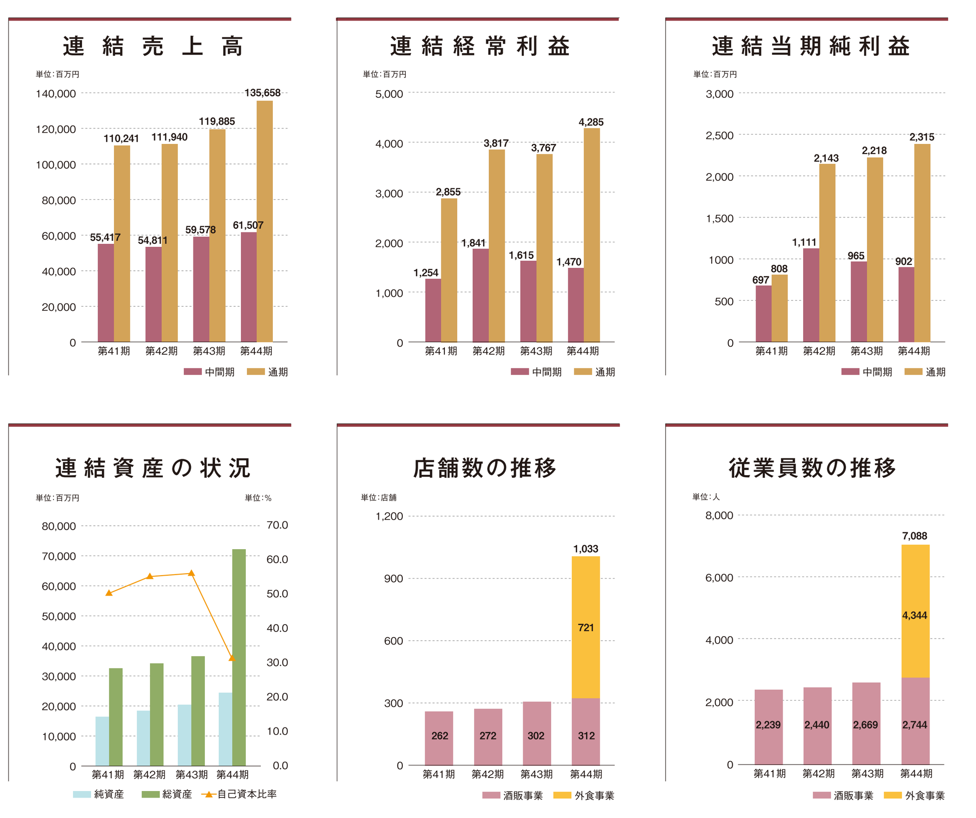
関東	
はなの舞	134店舗
魚鮮水産・さかなや道場	35店舗
軍鶏農場	6店舗
豊丸水産	9店舗
こだわりやま	5店舗
チムニー	2店舗
新橋やきとん	1店舗
豊丸・鶴金	1店舗
その他	5店舗
コントラクト	17店舗
合計	215店舗

東京	
はなの舞	95店舗
魚鮮水産・さかなや道場	32店舗
軍鶏農場	10店舗
豊丸水産	3店舗
こだわりやま	26店舗
チムニー	6店舗
升屋	9店舗
新橋やきとん	13店舗
その他	16店舗
コントラクト	8店舗
合計	218店舗

	直営店	FC店	合計
はなの舞	166店舗	182店舗	348店舗
魚鮮水産・さかなや道場	80店舗	39店舗	119店舗
軍鶏農場	25店舗	-	25店舗
豊丸水産	23店舗	-	23店舗
こだわりやま	2店舗	43店舗	45店舗
チムニー	-	8店舗	8店舗
その他	30店舗	27店舗	57店舗
コントラクト	100店舗	-	100店舗
合計	426店舗	299店舗	725店舗

財務ハイライト

Financial Highlight



連結財務諸表（要旨） Financial Statements

連結貸借対照表（要旨）　（百万円）

	当連結会計年度 2014年3月末現在	前連結会計年度 2013年3月末現在
資産の部		
流動資産	27,421	17,121
固定資産	44,444	18,606
有形固定資産	19,647	13,794
無形固定資産	12,989	59
投資その他の資産	11,806	4,752
資産合計	71,865	35,728
負債の部		
流動負債	30,196	13,997
固定負債	17,423	1,424
負債合計	47,619	15,422
純資産の部		
株主資本	22,218	20,197
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	6,055	6,055
利益剰余金	12,922	10,899
自己株式	△ 6	△ 4
その他の包括利益累計額	92	109
その他有価証券評価差額金	93	109
退職給付に係る調整累計額	△ 1	–
少数株主持分	1,935	–
純資産合計	24,246	20,306
負債純資産合計	71,865	35,728

連結損益計算書（要旨）　（百万円）

	当連結会計年度 2013年4月1日～2014年3月31日	前連結会計年度 2012年4月1日～2013年3月31日
売上高	135,658	119,885
売上原価	106,330	99,129
売上総利益	29,328	20,756
販売費及び一般管理費	25,128	17,204
営業利益	4,200	3,551
営業外収益	193	332
営業外費用	107	116
経常利益	4,285	3,767
特別利益	164	0
特別損失	180	0
税金等調整前当期純利益	4,269	3,767
法人税、住民税及び事業税	1,897	1,523
法人税等調整額	△ 168	24
少数株主利益	225	–
当期純利益	2,315	2,218

連結キャッシュフロー計算書　（百万円）

	当連結会計年度 2013年4月1日～2014年3月31日	前連結会計年度 2012年4月1日～2013年3月31日
営業活動によるキャッシュフロー	1,674	2,201
投資活動によるキャッシュフロー	△ 9,728	△ 2,136
財務活動によるキャッシュフロー	12,896	77
現金及び現金同等物に係わる換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額	4,843	143
現金及び現金同等物の期末残高	8,293	3,449

連結株主資本変動計算書（2013年4月1日～2014年3月31日）　（百万円）

	株主資本					その他の包括利益	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2013年3月31日 残高	3,247	6,055	10,899	△ 4	20,197	109	–	20,306
当期変動額								
剰余金の配当			△ 292		△ 292			△ 292
当期純利益			2,315		2,315			2,315
自己株式の取得				△ 1	△ 1			△ 1
株主資本以外の項目の連結会計期間中の変動額合計（純額）						△ 16	1,935	1,918
当期変動額合計			2,022	△ 1	2,021	△ 16	1,935	3,939
2014年3月31日 残高	3,247	6,055	12,922	△ 6	22,218	92	1,935	24,246

会社概要 Corporate Profile

会社概要（2014年3月31日現在）

会社名	株式会社やまや
英文社名	YAMAYA CORPORATION
本社所在地	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号
設立年月日	1970年11月26日
資本金	32億4733万円
従業員	（酒販）2,744名 （外食）4,344名 （計）7,088名
主要な事業内容	酒類、食品等の販売・輸入・製造
ホームページ	http://www.yamaya.jp
主要連結子会社	やまや商流株式会社、大和蔵酒造株式会社、やまや関西株式会社、やまや北陸株式会社、チムニー株式会社
上場取引所	東京証券取引所 第1部 （証券コード9994）

役員（2014年6月26日現在）

役員	代表取締役会長	山内 英房
	取締役副会長	山内 一枝
	代表取締役社長	山内 英靖
	取締役	佐藤 浩也
	社外取締役	星名 光男
	社外取締役	横尾 博
	常勤監査役	早坂 克昭
	社外監査役	鈴木 一樹
	社外監査役	黒澤 徳治

株式の状況（2014年3月31日現在）

※自己株式は5,025株です。

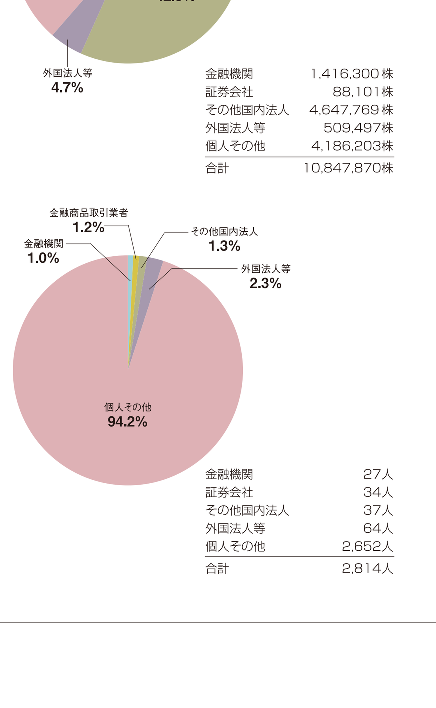
■発行可能株式総数	35,000,000株
■発行済株式総数	10,847,870株
■株主数	2,814人

大株主（上位10名）

※持株比率は自己株式（5,025株）を控除して計算しています。

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
山内コンサルタント株式会社	2,476,000	22.84
山内英靖	2,169,640	20.01
イオン株式会社	2,072,730	19.12
山内浩晶	325,260	3.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	291,600	2.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	244,100	2.25
株式会社七十七銀行	220,000	2.03
山内英房	197,960	1.83
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	120,000	1.11
オーエム04エスエスビークライアントオムニバス	97,612	0.90

所有者別株主分布状況（2014年3月31日現在）



金融機関	1,416,300株
証券会社	88,101株
その他国内法人	4,647,769株
外国法人等	509,497株
個人その他	4,186,203株
合計	10,847,870株

金融機関	27人
証券会社	34人
その他国内法人	37人
外国法人等	64人
個人その他	2,652人
合計	2,814人

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日。
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 （電話 0120-232-711 通話料無料）
ホームページ	http://www.yamaya.jp
上場取引所	東京証券取引所 第1部（証券コード9994）
公告	電子公告により行います http://www.yamaya.jp/pages/ir/koukoku/index.html やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

お知らせ

●期末配当（増配、記念配当）のご案内

当社が運営する酒販店312店、当社連結子会社のチムニー株式会社が運営する飲食店721店、あわせて、期末の連結グループ総店舗数は1,033店となりました。お陰様で、当期に連結グループの店舗数は1,000店を突破しております。

つきましては、株主の皆様のご支援に感謝の意を表するため、当初予定より配当金を一株当たり5円増やし、期末配当金を18円といたします。（普通配当14円、記念配当4円）当期の年間配当金は、既にお支払い済みの中間配当12円とあわせまして、1株当たり30円となります。期末配当金のお支払いの時期は、平成26年6月12日からの支払開始の予定です。

1. ご注意

（1）株主様の住所変更、買取請求、単元未満株式買増請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。

（2）特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

（3）配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくことになりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせ下さい。

（4）未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。